

運動失調症のバイオマーカーの探索

自然経過を修飾できる治療法を開発する



詳細に経過を評価できるバイオマーカーが必要



臨床症状発症前から評価できるバイオマーカーを探索する



小脳の学習能力
プリズム適応解析

花島・宇川

時間情報処理機能
タッピング解析

徳重・寺尾・宇川

眼球運動機能
Saccade 解析
眼と手の協働運動解析

寺田・寺尾・宇川

最適なバイオマーカーの確立

研究分担者: 宇川義一 (福島県立医大神経内科)

寺尾安生、徳重真一、寺田さとみ (杏林大学細胞生理学、神経内科)

花島律子 (鳥取大学神経内科)

【目的】

臨床経過フォローに最適なバイオマーカーを確立する

【成果】

1. プリズム学習による解析について患者症例を蓄積中
2. 多施設共同でのタッピング解析について患者症例を蓄積中
3. 眼球運動の患者症例を解析
4. 眼と手の協働運動の解析を評価方法の一つとし提案